

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年1月9日(2025.1.9)

【国際公開番号】WO2023/210418

【出願番号】特願2024-517208(P2024-517208)

【国際特許分類】

C 0 8 L 1 0 1 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 K 5 / 4 5 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

C 0 8 L 1 0 1 / 0 0

C 0 8 K 5 / 4 5

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月3日(2024.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

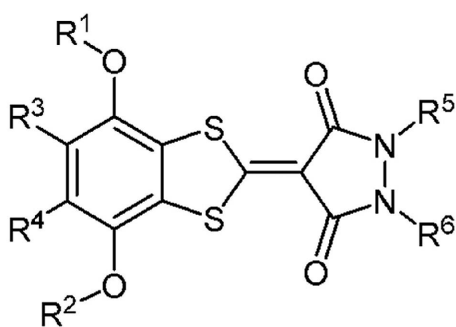
【請求項1】

式(1)で表される化合物および式(2)で表される化合物から選ばれる少なくとも1種の化合物Aを含む紫外線吸収剤と、

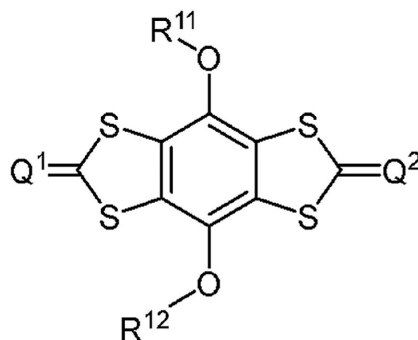
熱硬化性化合物と、

熱重合開始剤および重合触媒から選ばれる少なくとも1種の熱硬化助剤と、を含有する熱硬化性組成物；

【化1】



(1)



(2)

30

式(1)中、R¹およびR²は、それぞれ独立して、水素原子、アルキル基、アリアル基、アシル基、カルバモイル基、アルコキシカルボニル基、アリアルオキシカルボニル基またはエチレン性不飽和結合含有基を表し、

R³およびR⁴は、それぞれ独立して、水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、アリアル基、アルコキシ基、アリアルオキシ基、アシルオキシ基、アルキルアミノ基、アニリノ基、アシルアミノ基、アルキルスルホニルアミノ基、アリアルスルホニルアミノ基、アルキルチオ基、アリアルチオ基またはエチレン性不飽和結合含有基を表し、

R⁵およびR⁶は、それぞれ独立して、水素原子、炭素数2以上のアルキル基、アラルキル基、アリアル基、複素環基またはエチレン性不飽和結合含有基を表し、

40

50

R^1 と R^3 は結合して環を形成していてもよく、
 R^3 と R^4 は結合して環を形成していてもよく、
 R^2 と R^4 は結合して環を形成していてもよく、
 R^5 と R^6 は結合して環を形成していてもよい；

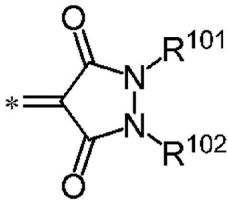
式(2)中、 R^{11} および R^{12} は、それぞれ独立して、水素原子、アルキル基、アリー
ル基、アシル基、カルバモイル基、アルコキシカルボニル基、アリーロキシカルボニル
基またはエチレン性不飽和結合含有基を表し、

Q^1 は式(Q-1)で表される基を表し、

Q^2 は、 $=O$ 、 $=S$ 、 $=NR^{q1}$ または $=CR^{q2}R^{q3}$ を表し、 $R^{q1} \sim R^{q3}$ は、それぞれ
独立して水素原子または置換基を表し、 R^{q2} と R^{q3} は互いに結合して環を形成してもよ
い；

10

【化2】



(Q-1)

20

式(Q-1)中、*は結合手を表し、 R^{101} および R^{102} は、それぞれ独立して、水素
原子、アルキル基、アラルキル基、アリール基、複素環基またはエチレン性不飽和結合含
有基を表す。

【請求項2】

前記式(1)の R^3 および R^4 のいずれか一方は水素原子を表し、他方はハロゲン原子
、アルキル基、アリール基、アルコキシ基、アリーロキシ基、アシルオキシ基、アルキ
ルアミノ基、アニリノ基、アシルアミノ基、アルキルスルホニルアミノ基、アリールスル
ホニルアミノ基、アルキルチオ基、アリールチオ基またはエチレン性不飽和結合含有基を
表す、請求項1に記載の熱硬化性組成物。

30

【請求項3】

前記式(2)の Q^2 は、 Q^1 と異なる構造の基である、請求項1に記載の熱硬化性組成
物。

【請求項4】

前記熱硬化性組成物の全固形分中における、前記化合物Aの含有量が0.01~20質
量%である、請求項1~3のいずれか1項に記載の熱硬化性組成物。

【請求項5】

前記熱硬化性化合物は、フェノール樹脂、エポキシ樹脂、メラミン樹脂、尿素樹脂、ポ
リエステル樹脂、アルキド樹脂、ポリイミド樹脂、ポリウレタン樹脂、ポリチオウレタン
樹脂、ジアリルフタレート樹脂、エピスルフィド樹脂、シロキサン樹脂及びこれらの前駆
体から選ばれる少なくとも1種を含む、請求項1~3のいずれか1項に記載の熱硬化性組
成物。

40

【請求項6】

請求項1~3のいずれか1項に記載の熱硬化性組成物を用いて得られる硬化物。

【請求項7】

請求項6に記載の硬化物を含む光学部材。

50